

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 18 主日 18th Sunday in ordinary time

上にあるものを求めよ。そこには、キリストがおられる (コロサイ 3・1)

You must look for the things that are in heaven, where Christ is, (Col 3・1)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事：地区委員会

初誓願式のご案内

来る 8 月 11 日 (木 山の日) 11:00 より桑原篤史修道士の初誓願式が聖アウグスチノ修道会主催で行われます。皆様ご参加ください。

教会学校キャンプ

今年の教会学校のキャンプは

日程：8 月 5 日(金)～7 日(日)

対象：小学校 1 年生～6 年生

サブリーダーとしての中高生

場所：御岳山荘

参加費：10,000 円

多くのお子さんの参加をお持ちしています。

聖書勉強会

聖書勉強会を毎月第 4 日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行います。たくさんの方の参加をお持ちしています。(宣教部：シスター植木)

献堂 50 周年記念事業第 4 期献金報告

2016 年第 4 期報告 (6 月末現在)

申込者数：110 名 (目標：200 名)

献金合計：2,223,554 円(目標：3,000,000 円) 1 期からの合計は 10,429,817 円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

50 周年ロザリオの祈りの報告(2016 年分)

6 月は 8 名 245 環です。累計で 56 名 994 環です。今年は 3,000 環が目標です。よろしくお願い致します。(50 周年委員会)

First Profession of Vows

Our Augustinian seminarian studying in America will profess his initial vows in a ceremony during the Mass on Aug. 11(11AM)

Everyone who wants to join is welcome.

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **10,429,817** yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、9 月 15 日(木)、10 月 20 日(木)、11 月 17 日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

神よみ旨のままに、
導いてください。

その他今後の予定

07月31日(日) 年間第18主日
08月07日(日) 年間第19主日
08月11日(木) 桑原篤史修道士 初誓願式
08月14日(日) 年間第20主日
08月15日(月) 聖母被昇天祭 10:00時

今週の掃除は8月6日(土)
北・西葛西です。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
August 6th Saturday
Kita・Nishi-Kasai Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第18主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (12:13-21)

〔そのとき、〕群衆の一人が言った。「先生、わたしにも遺産を分けてくれるように兄弟に言ってください。」イエスはその人に言われた。「だれがわたしを、あなたがたの裁判官や調停人に任命したのか。」そして、一同に言われた。「どんな食欲にも注意を払い、用心なさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである。」それから、イエスはたとえを話された。「ある金持ちの畑が豊作だった。金持ちは、『どうしよう。作物をしまっておく場所がない』と思い巡らしたが、やがて言った、『こうしよう。倉を壊して、もっと大きいのを建て、そこに穀物や財産をみなしまい、こう自分に言ってやるのだ。「さあ、これから先何年も生きて行くだけの蓄えができたぞ。ひと休みして、食べたり飲んだりして楽しむ」と。』しかし神は、『愚かな者よ、今夜、お前の命は取り上げられる。お前が用意した物は、いったいだれのものになるのか』と言われた。自分のために富を積んでも、神の前に豊かにならない者はこのとおりだ。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (12 : 13-21)

Our riches is God

A man in the crowd said to Jesus, “Master, tell my brother to give me a share of our inheritance.” “My friend,” he replied “who appointed me your judge, or the arbitrator of your claims?” Then he said to them, “Watch, and be on your guard against avarice of any kind, for a man’s life is not made secure by what he owns, even when he has more than he needs.”

Then he told them a parable: “There was once a rich man who, having had a good harvest from his land, thought to himself, ‘What am I to do? I have not enough room to store my crops.’ Then he said, ‘This is what I will do: I will pull down my barns and build bigger ones, and store all my grain and my goods in them, and I will say to my soul: My soul, you have plenty of good things laid by for many years to come; take things easy, eat, drink, have a good time.’ But God said to him, ‘Fool! This very night the demand will be made for your soul; and this hoard of yours, whose will it be then?’ So it is when a man stores up treasure for himself in place of making himself rich in the sight of God.”

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおさげいたします。

アーメン

ン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）